

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざした算数科の実践

学習の流れ

- ①ふくしゅう
- ②問題をつかむ
- ③めあて→見通しをもつ
- ④考える
- ⑤写真をとってカードを送る
- ⑥話し合う(ペア→みんなで)
- ⑦まとめ
- ⑧ほかのようチャレンジ！！
- ⑨ふりかえり

- 今日の学び
- 自分で
 - 友達と
 - こまった時 ※ヒントカード
 - こまった時 ※友達やお助けに聞く
 - こまった時 ※先生



自由に見ることができるので、分からない時に繰り返し見返していた。



今日の学習の自分自身の到達度と学習のふり返りを学習支援ソフト上で行った。他者参照でき、自分自身を振り返り次の学習にもつなげようとしていた。

指導に当たっては、コンパスの使い方についてICTを活用して自分の端末を用いて繰り返し見ることができるようにした。また、模様をコンパスで描くことができない児童に対して、考えをもつ手助けとなるヒントカードを用意しておくことで、選択できるようにした。そうすることで、どうすればよいのか分からず思考が進まない児童が減り、安心して学ぶことができていた。

学習支援ソフトに学習の流れを提示することで、見通しをもって学習できるようにした。学習の中で、誰と学ぶか選択できるようにすることで、一人で困ってじっとしている児童が減り、安心して学ぶことができていた。また、困ったときに行動選択できるようにし、学習課題を解決できるように促した。

円の描き方の動画と掲示資料を学習支援ソフトで自由に繰り返し見ることができるようにした。児童が、困った時にヒントカードを自由に見ることができるようになり、つまづきに対する支援とした。また、具体物として円に合わせる透明シートを用意することで、児童は自分に合った解決の仕方を選択し、学習課題に取り組むことができていた。